

2021年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮 幹雄	法人・事業所の特徴	越前市の北部に位置し、併設事業には、デイサービス、認知症対応型デイサービス、訪問介護、居宅介護、地域包括支援センターがあります。地域との繋がりを大切にすることを重視し、地域支援として、認知症カフェや地域との祭り、家族会なども開催しています。『あなたらしさいつまでも』を介護理念とし、生協10の基本ケアのケア方針を通じて、その人らしい生活を取り戻してもらうための支援を行いながら、“普通の暮らし”を取り戻す支援を目指します。地域の方も協力的で区長、老人会、民生委員との連携もとれています。地域の防災訓練、社会奉仕などの参加や近くの高校と、毎年、交流学习も実施しています。
事業所名	県民せいきょう小規模多機能ホーム 丹南きらめきハウス	管理者	木谷 美紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	3人	1人	0人	4人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き、ご家族や地域の方に事業所の取組みが把握できるように、広報誌に記載して発信していく また、改善計画を意識して取り組めるよう、必要な項目で担当を決めて具体的に取組みめるようにする。	ハウスでの取組みについて、広報誌の記載や、Instagram、フェイスブックなどでの外部への発信を行なった。 事業所自己評価の改善計画について、取組みがなされていない項目もあった	・質問に「常勤スタッフ」とあるが、常勤スタッフが分からない ・取組みが出来ていない項目がある。	引き続き、ご家族や地域の方に事業所の取組みが把握できるように、広報誌の記載や、SNSでの発信をしていく。 また、改善計画を意識して取り組めるよう、必要な項目で担当を決めて具体的に取組みめるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・感染症予防の為、密にならない工夫をする。また、利用者の意見を聞きながら、個々にくつろげる場の提供をしていく ・施設見学ツアー開催も検討する。	・1テーブルに二人の方に座ってもらうので、相性のいい方同士で居られるよう工夫したり、テーブルの配置の工夫をしたりして密にならないよう心掛けた。 ・感染予防のために施設内の見学は企画していない。	・施設内見学は難しいので、SNSを利用やリモートでの見学会をするとうい。 ・玄関が沢山あって分かりづらい。	・感染症予防の為、密にならない工夫をする。また、利用者の意見を聞きながら、個々にくつろげる場の提供をしていく ・施設見学ツアーは、リモート開催を検討する。 ・分かりやすく館内の案内板を作成する
C. 事業所と地域のかかわり	感染予防に気を付けながら、可能と思われる地域イベントなどに利用者と共に参加していく。 独居の方と地域の方とのつながりを大事にし、連携して支援を続けていく。	・感染症拡大予防の為に多くの各イベントが中止になり、利用者の参加は難しかった ・独居利用者と地域の方との関係が途絶えない様、近所の方や民生委員と連絡を取りながら支援を続けている。	特になし	感染予防に気を付けながら、可能と思われる地域イベントなどに利用者と共に参加していく。 独居の方と地域の方とのつながりを大事にし、連携して支援を続けていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き、利用者から行き来場所やイベントの声が上がったら、企画していない事でも臨機応変に取り入れ対応し、外出の機会を増やしていく。	利用者に何がしたいかの聴き取りをし、それを目標に実現できるよう関わりを持った。「いきなり外出」となる事もあるが、その時にいきたいところを聞き取りながら、多くの方をいきたいところにお連れできた。 また、まんべんなく思いをかなえてもらえるよう、今年は誕生日月に企画・実施して皆さんに喜ばれている。	・利用者以外の、近所で心配な方について案件があれば、運営推進の場で説明してもらおうと良い。	利用者から行きたい場所やイベントの声が上がったら、企画していない事でも臨機応変に取り入れ対応し、外出の機会を増やしていくとともに、ご利用者にまんべんなく思いを叶えてもらえる様な企画をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・感染拡大予防を考えた開催をする。 ・介護の事や事業所の事等、知りたいなとか、行ってみたいなど思ってもらえる様な内容を検討する。 ・開催日時の希望を聞き、出来るだけたくさんの方に参加してもらう	感染拡大防止のために、開催を文書配布となった回もあった。 開催曜日、時間についていろいろ試したり、気軽に参加いただけるよう案内文書の変更や、案内時の声掛けなど工夫したりすることで、参加者が少し増えた。	・平日は参加できないが土曜日だと参加しやすい。 ・内容としては介護についての学習会などがあると良い。	・感染拡大予防を考えた開催をする。 ・介護についての学習会を計画する。 ・開催日時を工夫し、出来るだけたくさんの方に参加してもらう。
F. 事業所の防災・災害対策	・災害福祉計画の全員の理解、把握を確認し、訓練当日も落ち着いてそれぞれに役割が果たせるように備えていく。 ・地域の消防団との連携を図る	・災害福祉計画の全員での共有の場は持てなかったが、ここに紙面での確認をする形をとった。 ・訓練では、役割を決めて臨み、前回の反省を踏まえ速やかに非難できた。 ・地域消防団との連携は取れていない。	・状況が分からなくてパニックになる方もおられると思う。うまく非難できるか心配。 ・事業所にお任せの気持ちだが、近所なので何か災害があればすぐに駆け付けます。 ・自警消防隊との連携については、消防署に相談すると良い。	・災害福祉計画の全員の理解、把握を確認し、訓練当日も落ち着いてそれぞれに役割が果たせるように備えていく。 ・感染状況に応じて地域の方やご家族に参加して頂く ・消防署に相談し、消防地域の消防団との連携を図る